

登録有形文化財「藤岡家住宅」

「地図」展

～「世界」はどう見えていたのか～

令和2年7月1日（水）より9月22日（火）



NPO 法人うちのの館（やかた）

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526 番地

電話とファックス 0747 (22) 4013

メールアドレス info@uchinono-yalata.cpm

月曜休館・月曜祝日のときは開館して翌日休館

9時～16時 高校生以上 300円・小・中学生 200円

「地図」展 ～「世界」はどう見えていたのか～

令和2年7月1日(水)～9月22日(火)

登録有形文化財「藤岡家住宅」 NPO法人うちの館 やかた

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526 番地 ☎と fax 0747 (22) 4013

info@uchinono-yakata.com <http://www.uchinono-yakata.com>

月曜休館・月曜が祝日のときは開館して翌日休館。9時～16時

高校生以上 300円・小・中学生 200円・20名以上 2割引

「地図」は、人々が自分を取り巻く「世界」をどのように見ているのかを表します。今回は、藤岡家所蔵の「地図」の内、特に明治時代～昭和初期までの地図で、特に、現代とは異なる視点の資料を中心に展示します。

*①「日本交通鳥瞰図」は、大正11年(1922年)に上野公園で開催された「平和記念東京博覧会」に鉄道省が出品した吉田初三郎画の鳥瞰図(幅一間半、長さ八間)をおよそ10分の1の24.5cm×140cmに縮小したものです。解説には「これは今迄の普通の日本地図を見るとは眼を異にして、逆に日本海々上から飛行器で日本を見た気持らになって御覧下さい。」とあります。「飛行器」とは、「玉虫型飛行器」の原理を発見した明治時代の航空機研究者、二宮忠八の命名した言葉で、日本上空を飛ぶ飛行機の視点で、南アメリカ大陸、アフリカ大陸、南極、アジア大陸などまでを見渡します。地図には、日本から世界各地への航路も入れられ、海を渡る船が描かれています。

*②「亜欧連絡記録第飛行往復完成」という小冊子は、「昭和12年4月、新聞社主催のアジア～ヨーロッパ連絡記録第飛行で、東京・ロンドン間の世界記録が樹立された」ことを記念するもので、[翼幅12m、機長8.21m、最高速度500km/時(高空に於て)、航続距離2,500km]の飛行機神風が、東京から台北、ハノイ、カルカッタ、バグダッド、アテネの上空を經由してロンドンに到着した簡単な地図が掲載されています。

*③ 地理の高等小学校用教科書「新撰小学地理書巻之一」(明治17年版権免許。明治21年4版出版)(稲垣千穎校閲 豊岡俊一郎 森孫一郎同編)は、冒頭から「地理とは何か」が、語られます。「門を出てなば、樹木の繁りたる處、家屋の集まりたる處、地の高き處、水の流るゝ處、車馬の來往する處等を、見む、今其名義を説明すべし」。同書では、現在用いられている都道府県名はまだ使われていません。例えば、「近畿地方」と言えば、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県の2府5県を指すのが一般的ですが、これは、明治後年に定められたもので、教科書ができた当時は、「畿内」。平安時代からの国郡制のまま、大和、山城、河内、和泉、摂津の5国となっており、紀伊(和歌山県)は南街道。近江(滋賀県)は、中山道。播磨(兵庫県)は山陽道。伊勢(三重県)は、東海道に分類されています。*④同「巻之二」(明治17年版権免許。明治23年5刷)には、「畿内」「東海道」「東山道」「中山道」「北陸道」「山陽道」「山陰道」「南海道」「西街道」「北海道」といった地域別の解説があります。奈良県の山岳については、「大和には山上嶽殊に高く、大台原山吉野山及葛木山之に亞ぐ、河内の金剛山は即ち大和の葛城山にして・・・」奈良県の河川については、「大和には大和川、吉野川、北山川、十津川あり、此の諸流は、水勢急激にして、兩岸の風景甚優美なり」と、説明されています。*⑤「新撰万国地理初歩」(明治31年発行。明治34年修正4版発行)*⑥「小学地理附図」(明治41年発行)には、地球の図が示されています。両者に「東半球」「西半球」の図が示されますが、10年の間に「世界」についての把握がどれだけ変化してきたかを表す資料です。*⑦「奈良県宇智郡全図」(大正3年宇智郡勢要覽)及び、*⑧「宇智郡近内村実測全図」(明治23年奈良県)など、当時の地域の形を詳細に示した地図や、西郷隆盛の弟の息子、西郷從徳が著した*⑨「明治天皇行幸年表」(昭和8年発行。昭和13年改定発行)には「明治天皇行幸地図」があります。大正13年1月26日の昭和天皇と香淳皇后のご成婚の記念に発行された「東宮御成婚記念・日本交通文県地図」(大正13年2月20日、大阪毎日新聞発行)は、東京都・山梨県、京都府、山口県など、計11枚が残されていました。

